

日本籍の入国可能国情報

2020年9月11日時点の情報です。詳細については弊社担当者までお問い合わせ下さい。

※日本国籍者が日本からビジネス目的で渡航する場合を想定して情報をご提供しております。

※情報は日々刻々と変わっておりますので、最新情報のご確認をお願い致します。

国名	外国籍の入国に対する措置
アメリカ合衆国	<ul style="list-style-type: none"> ・入国後、最終目的地において14日間の隔離措置が必要 ・NY州の空港でDOH traveler formへの記入が必要になったが、日本からの渡航者は対象外。 ・州間での移動制限あり。NY州、NJ州、CT州へ対象州（陽性者数が10万人当たり10人以上又は陽性率が10%以上の州＝7/28時点で34州と2地域）から移動する場合は14日間の隔離措置が必要。違反者には罰金。 ・感染防止とは別に、米国民の労働市場を守る目的で2020年12月31日まで米国外からの移民の受け入れ停止。但し、 <ol style="list-style-type: none"> (1)米国内にいるH-1B, H-2B, H-4, L-1, L-2, J-1, J-2ビザ保持者は、対象外なので、有効なビザがある限り、出国・再入国が可能。 (2)米国外にいるH-1B, H-2B, H-4, L-1, L-2, J-1, J-2ビザ保持者は、6月24日時点でビザを取得している場合、対象外なので、入国が可能。
イギリス	<p>7月10日以降、日本を含む免除対象国・地域（リスト： https://www.gov.uk/guidance/coronavirus-covid-19-travel-corridors#travel-corridors-countries-and-territories-exemption-list）からの渡航者はイングランド到着時の14日間隔離が免除（連絡先の提供は必要）。</p>
インド 査証が必要 難	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスビザは当面の間申請不可(入国禁止)。 ・チャーター便で入国の際は事前に本人が大使館へ確認し、許可が下りた場合のみビザ申請が可能。
インドネシア 査証が必要 難	<p>以下のどちらかの条件付きでビザ申請が可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャカルタ入国管理局から許可が下りた国家戦略プロジェクトビザ。 ・2020年4月2日以降にインドネシア入国管理局から発行された有効な許可（telex/kawat）がある場合。 <p>上記2件以外のビザ免除・到着ビザ・シングルビザ・マルチプルビザ・一時滞在ビザの発給は停止中。</p> <p>また、健康証明書(7日以内発行／健康証明書には航空機旅行に適した健康状態で呼吸器の感染症(発熱、咳、のどの痛み、くしゃみ、呼吸困難にかかっていない旨を記載)と声明書は査証申請時不要だが、入国時必要。</p>

国名	外国籍の入国に対する措置
韓国 査証が必要 難	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスビザの申請は可能だが、発給までかなりの時間がかかっている。 ※長期・現地許可ありで1ヵ月～1ヵ月半ほど。短期ビジネスは数ヵ月かかることも。 ・入国時もしくは3日以内に政府指定施設にてPCR検査を受け、14日間は隔離措置。
カンボジア 査証が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスビザのみ申請可能。 ※当社にて申請/発給確認済み。 ・入国時には、カンボジア入国の72時間前以内に保健当局から発行されたPCR検査に基づく陰性証明書が必要。
サウジアラビア (認証)	月曜日・木曜日のみ申請可
タイ 査証が必要 難	<ul style="list-style-type: none"> ・チャーター便利用のみビザ申請可。
台湾 査証が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・現地に招聘元のない一般的な会社訪問以外の目的(例：検品、アフタサービス、技術指導、契約提携等)であれば、ビザ(特別入境許可)取得後、入国可能となる。 ・6月22日より短期滞在ビジネス出張者は隔離措置期間の短縮が可能に。
中国 査証が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ビザ申請には政府発行のバーコード付き招聘状(招聘状の上側に「PU」と入っている)が必要。 ・Fビザ(目的が「交流・訪問」)は申請不可、「商用・貿易」目的であれば申請可能等、コロナ前と申請条件・必要書類が大きく変わっている。 ・ビザ申請書作成も申請予約もオンラインへ移行(現在申請予約が混雑している) ・9月25日以降の入国には3日以内発行のPCR検査陰性証明書(指定機関発行、指定フォーマットあり)が必要。
トルコ	入国者にPCR検査を実施。入国時にはマスクの着用義務あり。
パキスタン	郵送申請のみ可。窓口再開未定。
ベトナム 査証が必要 難	<ul style="list-style-type: none"> ・通常のビザ申請は申請不可。 ・チャーター便利用で、許可証があればビザ申請可能。
マレーシア 査証が必要	ビザは事前申請(郵送対応)の後、本申請(旅券のみ大使館持参)し、ビザ取得まで2～3週間ほどかかるとのこと。
ロシア 査証が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・長期就労ビザ=HQS(High Qualified Specialist)ビザの申請受付が再開。 商用ビザ、観光ビザについては引き続き申請不可。 ・内務省の招聘状発行も一部の国については受付再開も日本籍は不可。
EU	EU域外からの入域制限の段階的解除に関する勧告を採択。日本を含む15カ国が解除対象国に掲載されるも実際に入国を受け入れるかどうかは加盟国が決める。

国名	外国籍の入国に対する措置
フランス	入国可。7月20日からレストランや商業施設など屋内でのマスク着用が義務化。違反者は135ユーロの罰金対象。
オランダ	入国可。
ギリシャ	入国可。電子申請フォームを到着の24時間前までに提出。PCR検査対象となった者は結果が出るまで自己隔離。陽性の場合は14日間隔離。
イタリア	入国可。自己宣誓書、保健当局への通報、14日間の隔離義務。
クロアチア	入国可。入国後14日間は公衆衛生局の指示に従う。
ラトビア	入国可。経由国によっては自己隔離が必要。
ルクセンブルク	入国可。
キプロス	入国可。
スウェーデン	入国可。
スイス	7月20日から入国可。
スペイン	入国可。
ポルトガル	入国可。
リトアニア	入国可。
アイスランド	入国可。
ベルギー	入国制限解除準備中。長期滞在用査証取得者は入国可。
マルタ	入国制限解除準備中。
ドイツ	入国制限中。日本側が入国制限を撤廃した場合に限り制限を解除する。
オーストリア	入国制限中。